



良食味・多収の水稲新品種

あきだわら

“Akidawara”, a New High Yielding Rice Cultivar with Good Eating Quality

良食味で玄米品質が良い多収水稲品種です。生産者、流通業者、消費者ともにメリットのある低価格で質の良いお米の生産・流通が期待されます。

「あきだわら」の育成経過

収量性に優れる「ミレニシキ」に品質・食味の優れる「イクヒカリ」を交配し、2009年に品種登録出願をしました。



「あきだわら」は一穂粒数が多いため多収です。

「あきだわら」の特性

- 収量が高く、多肥栽培では標準施肥栽培のコシヒカリに比べ30%増収します。



あきだわら

コシヒカリ

「あきだわら」は「コシヒカリ」に比べて短稈で耐倒伏性が優れます。

精玄米重(kg/10a)

あきだわら (多肥)	日本晴 (多肥)	コシヒカリ (標肥)
739	654	566

- 炊飯米の食味は「コシヒカリ」に近く良食味です。

食味(-5<不良>~0<良>)

あきだわら (多肥)	日本晴 (標肥)	コシヒカリ (標肥)
-0.14	-1.52	0



あきだわら

コシヒカリ

栽培適地

- 関東・北陸以南の栽培に適しています。

命名の由来: 秋にたくさんの米が収穫でき米俵が並ぶことから命名しました。

農研機構 作物研究所 稲研究領域

問い合わせ先: 企画管理室 tel:029-838-8260

E-mail: www-nics@naro.affrc.go.jp <http://www.naro.affrc.go.jp/nics/index.html>